

令和7年度 第1回社会教育委員会・公民館運営審議会会議録

1. 開催日時

令和7年5月14日（水）午後1時30分～午後3時05分

2. 開催場所

新井総合コミュニティセンター 1階 会議室

3. 出席した者の氏名

(1) 委員

今井敦子委員、大西明委員、小島美子委員、齊木絵理委員、坂詰浩一委員、杉田和宏委員、鈴木幸江委員、高橋芳夫委員、古川拓未委員、松元延行委員、三井田芳郎委員、渡辺伸一委員

（欠席 芦野昌代委員、古川郁委員、古川守委員）

(2) 実行機関

塚田教育長、鴨井生涯学習課長、上田生涯学習補佐兼市史編さん室長、小林まなびの交流室長、佐藤文化振興係長兼市史編さん係長、清水スポーツ振興係長、横山まなび推進係長兼図書館企画運営係長、下澤指導主事

4. 協議事項

- (1) 議長・副議長の選任について
- (2) 会議録署名委員の選任について
- (3) 上越地区社会教育委員連絡協議会等への役員選出について
- (4) 令和7年度生涯学習課事業計画について
- (5) 令和7年度社会教育関係団体等への補助金について
- (6) 社会教育委員の主な会議等の予定について

5. 会議資料の名称

- ・資料1 令和7年度社会教育委員名簿
- ・資料2 令和7年度生涯学習課事業計画
- ・資料3 令和7年度社会教育関係団体等への補助金等一覧表
- ・資料4 令和7年度社会教育委員の主な会議等の予定

6. 協議内容

- (1) 議長・副議長の選任について

生涯学習課より案を説明後、議長に大西明委員、副議長に芦野昌代委員を選任

(2) 会議録署名委員の選任について

名簿順で、今井敦子委員、小島美子委員を選任

(3) 上越地区社会教育委員連絡協議会等への役員選出について

上越地区社会教育委員連絡協議会副会長に大西明委員、理事に芦野昌代委員、渡辺伸一委員、監事に小島美子委員、編集委員に古川郁委員を選出

(4) 令和7年度生涯学習課事業計画について

生涯学習課の各係長から、係ごとに事業の計画を説明

<発言の内容>

【新図書館等複合施設管理運営事業】

委員：図書館は7月中旬から9月末まで、ずっと休館になるのか。

生涯学習課：引越しや新施設の準備等もあるので、7月14日から新施設オープンの10月4日まで本館は休館となる。

委員：図書館休館の期間中は、高校生等が学習する場所はあるのか。

生涯学習課：勤労者研修センターの1階は学生が学習のために使っている。他にも妙高支所2階など、子どもたちから勉強場所として使ってもらえるスペースを庁内で拾い出し、情報発信したい。

委員：アンケートをとるなど、どの場所がよいのか子どもたちの声を聞いてほしい。

委員：コミセンやふれあい会館の会議室などは開放できないのか。

生涯学習課：コミセンなどは市民の皆さんが貸館で使い、非常に利用頻度が多いので、まずは施設本来の目的である市民の活動の場として優先したい。なお、勤労者研修センターについては学習できる場所として定着しているので、1階スペースで足りない状況があれば大研修室の活用なども検討したい。

【「妙高市民の心」推進事業】

委員：普及啓発活動の小中学校作文等コンクールについて、学校負担軽減のために自主的な参加となるが、子どもたちにとって大事なことである。強制するものではないが、コンクールを通じて成長にも繋がるので、学校を通じて自主的な参加を呼びかけてほしい。

【アートステージ妙高推進事業】

委員：20周年記念の第九コンサートは演奏者が来るのか、それとも市民参加型か。

生涯学習課：市民参加型コンサートだが、ソリストも来る。合唱団の公募も行う予定である。

【妙高市文化ホール・新井総合コミュニティセンター大規模改修事業】

委員：文化ホール、コミセンの大規模改修はいつ行うのか。

生涯学習課：補助金が順調に来るということであれば、令和9年度～10年度の2ヵ年で工事をする予定である。

委員：令和9年11月に新潟県更生保護大会が予定されており、実施できるのは文化ホールしかないので計画時に配慮してほしい。

生涯学習課：防衛省の補助金の予算がつけば、工事期間にあたる。更生保護大会の会場の件については、別途相談させてほしい。

【スポーツタウンづくり推進事業】

委員：特に中学校の運動部関係は地域の受入施設に限られてくると思うが、市として施設を確保できていると考えているか。

生涯学習課：平日はこれまで同様の活動を継続していくが、第1・第3・第4土日は学校としての活動を休止とし、地域の既存のクラブ活動へ、中学生の希望により参加してもらう。地域クラブ団体は学校施設や社会教育・社会体育施設を利用しており、現状の施設確保はできていると考えている。新しいクラブの利用調整は、その都度対応していく。

委員：各学校とも連携をとり、生徒たちの希望がかなえられるようにお願いしたい。また、今後、地域スポーツクラブで各種スポーツ大会や音楽コンクール等に参加する場合の取扱いはどうになるのか。

生涯学習課：スポーツ大会や音楽コンクールには、これまで学校部活動として参加していた。それらのあり方が変わってきているが、今後の具体的な方針は示されていない。スポーツでは、地域クラブが許可を受ければ中学校体育連盟の主催する大会に出場できるが、こども教育課と生涯学習課が一緒になり、子どもたちのことを一番に考えた取扱いとなるように検討していきたい。

委員：陸上競技について、上越市のはね馬クラブは、妙高市の子どもたちも含めて200人以上が活動し、逆に上越市の子どもたちも、妙高市のクラブに参加している。陸上の場合、活動場所は各市に1つしかなく、はね馬クラブは芋の子を洗うような状況で活動している。新井の競技場は市外団体のため料金が2倍になるが、地域のクラブがお互いに力をつけるため、市外団体が市内料金で活動できるように各市での料金統一を要望したい。

生涯学習課：行政としては条例規則に沿って対応することが基本であるが、指導者や活動されるかたの気持ちも理解できるので、上越市と相談しながら検討したい。

【スキーマチ妙高推進事業】

委員：スキーマチの競技人口が激減し、妙高高原小学校は統合して3年目だが、クロスカントリー男子リレーチームが組めない。また、スキーマチの経費が上がり過ぎており、ジュニアスキーマチ育成会から指導者の派遣を受けているが、人材確保が難しいほか、費用的なサポートがないと厳しい。スキーマチ競技人口の底辺拡大のために、財政的、人的支援をお願いしたい。

生涯学習課：子どもたちの活動は多様化しているが、妙高を代表するスポーツはスキーマチであり、オリンピック選手を輩出してきた歴史がある。ジュニアスキーマチ育成会をはじめ、地域一丸で応援してきたことを継続していく必要がある。

【スポーツ施設整備事業】

委員：ふれあいパークの改修について、柔剣道場、アリーナはインターネットの環

境が非常に悪い。音楽を聴きながらスポーツできるよう、また電話の繋がりも悪いので整備を進めてほしい。

生涯学習課：携帯電話の繋がりが悪いことは承知している。施設へのW i - F i 設置は観光施設を中心に順次進めてきたが、社会教育施設等についても、実態を調査しながら順次整備していく必要があると考えている。

(5) 令和7年度社会教育関係団体等への補助金について

意見聴取し、委員から意見等なし

(6) 社会教育委員の主な会議等の予定について

生涯学習課より説明

5. その他

・特になし

以 上

令和 7 年 5 月 30 日

上記相違ないことを確認する。

会議録署名委員

今井 敦子

小島 美子

令和7年度 第1回社会教育委員会議・公民館運営審議会 次第

期 日：令和7年5月14日（水）午後1時30分～
会 場：新井総合コミュニティセンター 1階会議室

1. 開 会

2. あいさつ

3. 自己紹介

4. 協議事項

(1) 議長・副議長の選任について

(2) 会議録署名委員の選任について

(3) 上越地区社会教育委員連絡協議会等への役員選出について

①上社連副会長

②上社連理事

③上社連理事

④上社連監事

⑤上社連編集委員

※上社連：上越地区社会教育委員連絡協議会

(4) 令和7年度生涯学習課事業計画について

(5) 令和7年度社会教育関係団体等への補助金について

(6) 社会教育委員の主な会議等の予定について

5. その他

6. 閉 会

令和7年度社会教育委員名簿

(敬称略・五十音順)

氏 名	備 考
芦 野 昌 代	NPO法人育児サークル天使のほほえみ
今 井 敦 子	青少年図書選定委員会、文芸妙高編集委員会
大 西 明	社会教育主事
小 島 美 子	市民公募委員
齊 木 絵 理	新任 市民公募委員
坂 詰 浩 一	新任 元中学校長
杉 田 和 宏	新任 妙高市校長会
鈴 木 幸 江	日本語教室あいうえおスクール
高 橋 芳 夫	新任 妙高市地域づくり協議会
古 川 郁	妙高文化振興事業団
古 川 拓 未	新任 妙高市小中学校PTA連合会
古 川 守	市民公募委員
松 元 延 行	新任 国立妙高青少年自然の家
三 井 田 芳 郎	NPO法人スポーツクラブあらい
渡 辺 伸 一	わくわくランドあらい運営委員会

妙高市教育委員会職員名簿

氏 名	役 職
塚 田 賢	教育長
鴨 井 敏 英	生涯学習課長
上 田 芳 彰	生涯学習課長補佐・市史編さん室長
小 林 豊	生涯学習課 まなびの交流室長
佐 藤 慎	生涯学習課 文化振興係長・市史編さん係長
清 水 義 也	生涯学習課 スポーツ振興係長
横 山 慎一郎 (新任)	生涯学習課 まなび推進係長・図書館企画運営係長 (事務局)
下 澤 陽 一 (新任)	生涯学習課 指導主事 (事務局)

令和7年度 生涯学習課 事業計画

1 生涯を通じて学び、つなぎ、活かす人づくり

事業名称	事業の目的と概要	実施内容等	令和7年度の改善策等
生涯学習推進事業 (8,528千円)	○市民が生涯を通して自ら学び、個性や能力を伸ばし、生きがいや仲間づくりを進め、充実した人生を送ることができる社会を目指すため、地域の自然、歴史、文化などのほか、人権、男女共同参画など、SDGsの基本理念を踏まえた多様な学びの機会を提供する。 ○若い年代における社会教育への参加を促すための講座を開催する。 ○学びの成果を地域や社会に活かす学びの循環と人材活用を推進する。	○妙高はねうまカレッジ「まなびの杜」の開催 ・基本講座A（自然環境分野）、B（歴史文化分野） ・まちの魅力発見講座 ・妙高高原地域、妙高地域で学ぶ講座（関川の関所、関山神社） ・高校生と学ぶスマホ講座（新井高校3年生と一緒に） ・親子自然体験講座（親子での自然体験） ・チャレンジ講座（蛟ヶ尾城跡の環境保全、特定外来種の駆除） ○（新）「あそびの杜」の開催 ・子どもに向けた学びの提供 ○学びの循環に向けた仕組みづくり ・地域活動人材制度の運用	・歴史文化分野において、現在作業を進めている市史編さんのエピソード等を紹介する。 ・妙高市複合施設（まちなか+）を会場とする、子どもに向けた遊び心ある講座を開催する。 ・妙高市複合施設（まちなか+）で行われる活動に対し、地域活動人材制度のPR等を行う。
新図書館等複合施設整備事業 (722,983千円)	○図書館、子育て支援、生涯学習、市民交流の機能を備える妙高市複合施設（まちなか+）を整備する。	○妙高市複合施設（まちなか+）の整備 ・建設工事の竣工（令和7年5月末） ・机、椅子、棚類など備品の購入 ○（新）いきいきプラザの解体撤去 ・工損調査の実施 ・解体撤去工事の実施	・使用開始に向け施設を整備する。 ・R8の整備完了に向け、いきいきプラザを解体撤去する。
（新）新図書館等複合施設管理運営事業 (111,991千円)	○妙高市複合施設（まちなか+）をオープンし、学びや交流の拠点施設として運営する。	○（新）施設オープンに向けた準備 ・現図書館の休館（7月中旬）、まちなか+への引越し（7月中旬～9月末） ○（新）竣工式・オープンニングイベントの開催 ・10月4日のオープン、及び毎月のイベント開催 ○（新）施設の管理運営 ・図書館窓口業務及び各種施設管理運営業務等の委託 ・市民等との共創による多様な取組の推進（妙高市複合施設（まちなか+）活用アクションプランによる取組の実施） ○（新）図書館協議会の設置 ・図書館の運営に関して、図書館長の諮問に対する答申を行ったり、図書館の提供するサービスについて意見を述べる機関	・妙高市複合施設（まちなか+）をオープンし、適切な管理運営と活用の促進を図る。 ・市民の多様な意見を運営に反映させるため、図書館協議会を設置する。
「妙高市民の心」推進事業 (692千円) ※一般管理事業を含む	○雪国で培った「ゆずり合う心」や「助け合う心」など、妙高の地で育まれてきた心の文化を家庭・地域・学校・事業所が一体となって継承し、深め、広めることで魅力ある街づくりを推進する。	○ALL妙高あいさつ運動の実施 ・全国交通安全運動とのタイアップ（春・秋） ○ALL妙高クリーンアップ運動の実施 ○普及啓発活動 ・取組事例の募集、表彰 ・小中学校作文等（作文・詩・手紙）コンクール ・市報を活用した取組み事例紹介など	・あいさつ運動、クリーンアップ運動について、地域や事業所の負担軽減のため、報告書の提出を求めない。 ・作文等コンクールについて、学校の負担軽減のため、学校へは案内文書配布のみとし、児童・生徒の自主的な参加形式で募集する。
わくわくキッズステーション管理運営事業 (43,346千円)	○青少年学習の基幹施設である「わくわくランドあらい」において、地域、有識者やボランティアの皆さんで構成される運営委員会が地域密着型の学習や体験を提供し、教育力の向上を図る。 ○市民ボランティアの参画・運営により、多様な体験活動を提供し、子どもの生きる力や郷土愛を醸成する。	○青少年学習施設「わくわくランドあらい」の管理運営 ・学習の場としての施設開放 ○子どもたちの生きる力を育む体験機会等の提供 ・わくわくクラブ活動の実施 ・わくわく教室の開催 ・各種イベントの開催	・施設を効果的に活用し、発見と想像をテーマに子どもたちの「生きる力」が醸成されるよう、多様な学習や体験を提供する。 ・感染症予防の継続と、安全安心に利用できる適切な施設の管理運営を図る。

2 特色ある文化芸術施策の推進

事業名称	事業の目的と概要	実施内容等	令和7年度の改善策等
アートスデージ妙高 推進事業 (17,718千円)	○東京藝術大学とのつながりを活かした特色ある文化芸術事業を実施し、「文化芸術のまち妙高」を全国に発信する。 ○市民に創作活動の発表機会を提供するとともに、さまざまな市民団体の活動を幅広く支援し、文化芸術への関心を高め、市民活動の活性化を図る。	○妙高芸術祭の開催 ・四季彩芸術展(通常展:9/27~10/13、入賞作品展(妙高高原ビクターセンター):10/16~10/26) ・(新)歴代大賞作品展(9/27~10/13、10/25~11/3) ・妙高市展(10/25~11/3) ・ジュニア芸術展(10/25~11/3) ○東京藝術大学吹奏楽クリニックの開催 市内中学生・高校生対象とした指導会と成果発表コンサート(10月~12月) ※対象を高校生まで拡大 ○秋のアート&カルチャー情報紙の刊行(10/1全戸配布) ○文化芸術活動奨励金の交付 ○市民はねうま句会の開催支援(4/13) ○(新)NHK公開収録番組の開催(NHKのど自慢:9/7) ○(新)「妙高市制施行20周年記念『第九』コンサート」の開催(11/24) ○中学生の地域クラブ活動への参加に向けた団体の支援(吹奏楽・合唱ほか) 【関連団体等】 ・(公財)妙高文化振興事業団 ・妙高芸術祭実行委員会 ・東京藝術大学・上越教育大学 ほか	・参加者の高齢化が進み、運営の担い手となる実行委員等の確保も難しくなっているため、文化芸術団体と積極的に情報共有を図る。 ・市制施行20周年の節目を機に、新たな文化芸術活動の潮流を生み出すための施策を検討していく(東京藝術大学との新たな連携事業等)。
妙高歴史遺産活用推進事業 (2,295千円)	○市内3地区(大字関川・関山・斐太)の「歴史文化保存活用計画」に基づく事業を地元の住民組織とともに実施し、歴史文化資源を活かしたまちづくりを推進する。	○大字関川…天神社の大スギ天然記念物再生事業(樹勢回復事業) ※国庫補助事業(1/2補助) ○関山地区…妙高山参詣古道の整備・活用等(「飯山伏の椿遣い」プレミアム体験ツアーの支援) 宝蔵院ゆかりの温泉文化の調査・発信(パネル展等の開催) ○斐太地区…斐太歴史の里の里山景観保全(斐太地区協議会の活動支援…薪の刈払い、枯木の片付け) 【関連団体等】 ・大字関川歴史文化保存活用計画推進協議会 ・関山地区歴史文化保存活用計画推進事業部(関山自治会) ・斐太地区協議会・斐太史跡保存会・斐太歴史の里ガイドの会 ・妙高歴史文化おもてなしたい ほか	・地元団体の活動をさらに盛上げるために、組織作りや自主活動の側面支援とともに、地道な活動を積極的に市民にPRしていく(イベントの開催、報道機関へのリリース等)。 ・市や団体の活動を広く発信するためにホームページでの情報提供の充実を図る。
スロヴェニ・グラデツ 高校交流事業 (5,608千円)	○国際姉妹都市協定を結ぶスロヴェニ・グラデツ市のスロヴェニ・グラデツ高校との高校生同士の相互派遣交流を通して、将来を担う青少年の国際感覚の醸成と異文化理解の促進を図る。	○スロヴェニ・グラデツ市への妙高市の高校生訪問団の派遣 ・訪問日程:10月後半、9日間の予定 ・訪問団の構成:高校生10名、引率職員4名、計14名の予定 ・内容:グラデツ市長への表敬訪問 ホームステイによる生活体験 共通テーマでの共同学習 市内近郊の視察 ○派遣報告会の開催(12月)	・国際姉妹都市のスロヴェニ・グラデツ市に関する市民の関心を高めるため、市報への掲載やマスコミへの情報提供など、積極的な情報発信により広く高校交流の周知を図る。

(新) 妙高市文化ホール・新井総合コミュニティセンター大規模改修事業 (45,067千円)	○築42年が経過した市民の文化芸術活動の拠点である妙高市文化ホール及び新井総合コミュニティセンターの長寿命化と利便性・快適性の向上に向けた大規模改修事業に取り組む。	○大規模改修工事の設計業務委託 一式 (主な改修内容) ・特定天井の耐震化(大ホール・ホワイエ)と防火シャッターの改修 ・外壁改修 ・舞台機構更新 ・空調設備改修 ・受変電設備改修 ・トイレ洋式化と温水暖房便座改修 ・給湯設備のIH改修 ・Wi-Fi設備改修 など	・令和7年度新規事業
市史編さん事業 (12,264千円)	○妙高市の地域特性を明らかにし、市の将来をより良いものとするために、その指針となる新たな市史を編さんする。 ○妙高市史の編さんを通して、愛郷心やまちづくり意識の醸成、各地に伝わる史資料の保存や継承、教育文化の向上や産業の振興等を図る。	○市史編さん委員会の開催(1回) ○(新)市史専門委員会の設置、委員の委嘱 ○(新)市史編集会議の開催(2回) ○(新)市史専門委員会分野別調査の実施(各5回) ①原始・古代、②中世・近世、③近代・現代、④自然・民俗、⑤文芸・文化財 ○各種悉皆調査の実施 ・集落調査 ・学校調査 ・神社・寺院・仏堂調査 ・事業所調査	・「妙高市史編さん計画」に基づき、刊行スケジュールを常に意識しながら計画的に事業を推進する(第1巻の刊行：令和11年度)。 ・市史専門委員会の活動開始により、事務局が大きく増えることが予想されるため、体制の充実や作業場所の確保を図る。

3 誰もが親しめるスポーツの推進

事業名称	事業の目的と概要	実施内容等	令和7年度の改善策等
スポーツタウンづくり推進事業 (23,420千円)	○総合型地域スポーツクラブによる運動メニューの提供や、スポーツ教室や大会の開催をはじめ、健康ウォーキングの開催による運動習慣の定着を図るとともに、ユニバーサルスポーツに加え、アーバンスポーツ等の普及などにより、誰でも気軽にスポーツや運動に親しめる機会の拡大を図る。 ○休日における学校部活動の令和8年度の完全休止に向けて、引き続き地域クラブ活動団体等の活動を支援し、中学生の各種活動の充実を図る。	○各種事業・委託事業等 ・総合型地域スポーツクラブ等運営委託 ・生涯スポーツ大会開催 ▶第44回ファミリースポーツ大会(6/29) ▶第40回ナイターソフトボール大会(7/26・27) ▶第36回ナイターババギヤルボール大会(7/26・27) ・「妙高市制施行20周年記念」第56回越後妙高コシヒカリマラソン大会(10/12) ・ユニバーサルスポーツ「ポッチャ」の体験会(実技指導)及び交流大会の開催 ・体験会及び出前講座による「ポッチャ」の普及 ・(新)スケートボード教室・トッパアスリートによるスポーツ教室の開催 ・県「にいがたヘルス&スポーツマイレージ事業」のアプリを活用した事業所・地域対抗及び個人ランキング戦の開催(年3回)と、健康ポイントによる市内スポーツ施設等の利用促進 ・健康ウォーキング教室やイベント等の開催 ・「ウォーキングの日」(毎月12日)の普及啓発活動の実施 ・ジュニアスポーツ等指導者の育成支援(指導者研修会の開催と指導者資格取得を支援) ・ラジオ体操の普及促進 ・中学生を受入れる地域クラブ活動団体への活動支援と中学生の参加促進に向けた体験会等の開催 【関連団体等】 ・NPO法人スポーツクラブあらい ・妙高市コミュニティスポーツ協議会 ・(一社)妙高高原さわやか協議会 ・越後妙高コシヒカリマラソン大会実行委員会 ・NPO法人ふさとづくり妙高 ・妙高市スポーツ推進委員連絡協議会 ・(株)スポーツメディア	・市制施行20周年の記念大会として、越後妙高コシヒカリマラソン大会にガスランナーを招聘し、大会を盛り上げる ・「にいがたヘルス&スポーツマイレージ事業」の地域協力店として、市内スポーツ施設を登録し、運動習慣の定着とスポーツ施設の利用促進を図る。 ・スケートボード教室やトッパアスリートによるスポーツ教室を開催し、アーバンスポーツ等の普及による、新たなスポーツ機会の創出やジュニア層の底辺拡大と競技力の向上を図る。
スキーマのまち妙高推進事業 (10,657千円)	○ウインタースポーツ体験会の開催によるスキー競技人口の底辺拡大を図るとともに、ジュニアスキー育成団体の活動や各種スキー大会の開催と支援を行い、「スキーマのまち妙高」の振興を図る。	○各種事業・大会等 ・アスリート強化育成事業委託 ・ジュニアスキー育成団体補助 ・妙高サマーキャンプ大会開催(負担金) ・国民スポーツ大会冬季大会スキー競技会県予選会開催(負担金) ・信越学童親善スキー大会開催(負担金) ・ジュニア育成等スキー大会の開催支援(補助金交付) ▶Mt. Myoko ジュニア大会 ▶妙高スビードクロスカントリースキー競技大会 ▶ジュニアサマーキャンプ大会 ▶全日本スキー連盟B級公認GSL大会 ・(新)トッパアスリートによるウインタースポーツ体験会開催 【関連団体等】 ・妙高市ジュニアスキー育成連絡協議会 ・妙高高原ジュニアスキー育成会 ・妙高ジュニアスキー育成会 ・妙高サマーキャンプ大会実行委員会 ・(公財)新潟県スキー連盟 ・(公財)新潟県スキー連盟上越協議会 ・信越学童親善スキー大会実行委員会 ・妙高スビードクロスカントリースキー競技大会実行委員会	・少子化や社会生活環境の変化などに伴い、スキー競技人口が減少しており、競技人口の底辺拡大と選手育成に取り組むジュニアスキー育成団体の継続的な支援を行う。 ・トッパアスリートによるウインタースポーツ体験会を通じ、市民の興味や関心を高め、スキーにふれる機会を提供し、競技人口の底辺拡大を図る。

事業名称	事業の目的と概要	実施内容等	令和7年度の改善策等
スポーツ施設整備事業 (59,123千円)	○安全安心で快適にスポーツ施設を利用できる環境を提供するため、計画的な改修工事を行うとともに、新たにスケートボード広場の整備により、スポーツ活動の環境を充実し、市民の運動機会の拡充を図る。	○設計委託 ・新井総合公園体育館屋根改修工事設計業務委託 ○改修工事 ・新井総合公園トイレット洋式化工事 ・妙高ふれあいパーク駐車場区画線舗装工事 ・妙高ふれあいパークアリーナ床改修工事 ・妙高高原スポーツ公園園野球場スコアボード撤去工事 ・(新) スケートボード広場舗装整備工事等 ○備品購入 ・妙高高原スポーツ公園園野球場 BS0 カウント表示器購入	・施設や設備の適切な維持管理に努めるとともに、施設の機能向上を図る改修工事等を行う。 【スケートボード広場の整備】 ・初心者向けのスケートボード広場の整備

社会教育法第13条に基づく社会教育委員会議の意見聴取

令和7年度社会教育関係団体等への補助金等一覧表

補助金等	補助事業団体等	予算額 (千円)	概要説明
市小中学校 P T A 連合会 補助金	市小中学校 P T A 連合会	700	研究大会、家庭教育推進事業、単位 P T A 学習活動等に対する市小中学校 P T A 連合会への支援
文芸振興事業 補助金	文芸妙高編集委員会	200	文芸妙高発行に対する編集委員会への支援
新潟県駅伝競走大会 出場補助金	妙高市陸上競技協会	60	新潟県女子駅伝競走大会に出場する妙高市代表チームへの支援
中学校硬式野球大会 開催補助金	妙高市長杯中学生硬式 野球大会 森田カップ 実行委員会	100	中学生の技術向上を目的とした野球大会の主催団体への支援
妙高ジュニアサッ カー大会開催補助金	妙高サッカー協会	100	ジュニア層の競技力向上を目的したサッカー大会の主催団体への支援
ジュニアスキー育成 補助金	・ 妙高高原ジュニアス キー育成会 ・ 妙高ジュニアスキー 育成会	3, 541	ジュニアスキーの競技力向上と底辺拡大を目指し、指導体制の強化と、選手の経済的負担の軽減を目的とした、ジュニアスキー育成団体への支援
ジュニア育成スキー 大会開催補助金	・ (公財) 新潟県スキー 連盟上越協議会 ・ 妙高スピードクロス カントリースキー競技 大会実行委員会 ・ NPO 法人妙高高原ス キー連盟	950	ジュニア選手育成を目的としたスキー大会の主催団体への支援 ① Mt. Myoko ジュニア GSL 大会 (200 千円) ② 妙高スピードクロスカントリースキー競技大会 (150 千円) ③ ジュニアサマージャンプ大会 (100 千円) ④ 全日本スキー連盟 B 級公認 GSL 大会 (500 千円)
		5, 651	

令和7年度 社会教育委員の主な会議等の予定

期 日	会 議 名	会 場	対 象 者
4 月 25 日 (金)	第 1 回妙高市社会教育委員会議	新井総合 コミュニティセンター	全員
5 月 9 日 (金)	第 1 回上社連理事会	上越市 春日謙信交流館	副会長、理事
6 月下旬	上社連総会、研修会	未定	全員
6 月下旬	上越地区社会同和教育市町村巡回研修会	上越市 金谷地区公民館	希望参加
6 月 30 日 (月)	県社連社会教育委員等研修会	新潟市 黒埼市民会館	希望参加
9 月下旬	第 2 回上社連理事会	未定	副会長、理事
10 月 8 日 (水)	県社会教育研究大会新発田大会	新発田文化会館	全員
10 月 29 日 (水) ～31 日 (金)	全国社会教育研究大会	岩手県盛岡市	希望参加
期日未定	生涯学習現地研修会	妙高市	全員
11 月中旬	第 2 回妙高市社会教育委員会議	妙高市役所	全員
11 月 20 日 (木) ～21 日 (金)	関東甲信越静社会教育研究大会	神奈川県横浜市	希望参加
2 月中～下旬	第 3 回上社連理事会	未定	副会長、理事
3 月中旬	上社連会計監査	未定	監事

※上社連：上越地区社会教育委員連絡協議会

県社連：新潟県社会教育委員連絡協議会